人気温泉旅館ホテル250選限定企画

白樺リゾート池の平ホテル

長野県・白樺リゾート池の平温泉

シェフが目の前で調理

長野県茅野市の「白樺リゾート池の平ホテル」（矢島義擴社長）の夕食バイキングでは、和食、洋食、中華、エスニックの70種類のメニューを味わえる。シェフが目の前で調理してくれるオープンキッチンで料理を提供。子供から大人まで世代を超えて人気だ。

料理・食事

お勧めは、新鮮な食材を使った握りたての寿司、焼き立てのジューシーな牛ステーキ、旬の食材の揚げたての天ぷらなど。他にもズワイガニやデザート、ソフトクリームも思う存分楽しめる。

通年通して70種類の世界の料理を堪能できるが、さらに9月1日から11月30日までは和洋中の料理長がこだわって作り上げた逸品を二品選べる。和食は松茸の土瓶蒸し、洋食はフォアグラ丼、中華は海鮮蒸し特製ソースなど、どれも通常のバイキングではお目にかかれないような料理だ。

▽白樺リゾート池の平ホテルは長野県茅野市北山白樺湖。☎0266（68）2100。http://hotel.ikenotaira-resort.co.jp/

世代を超えて人気のバイキング

水明館

岐阜県・下呂温泉

ヘルスクラブで健康増進

健康の旅

岐阜県下呂温泉の飛騨川沿いに建つ温泉リゾート旅館、水明館（瀧康洋社長）。能舞台や横山大観ら日本画家の巨匠たちの作品が飾られた画廊、情緒ある日本庭園など風格が感じられる。

館内のスポーツ施設「すいめいヘルスクラブ」が厚生労働省の指定運動療法施設に認定され、6月から業務を開始した。

「すいめいヘルスクラブ」は、2005年に運動型健康増進施設に認定されており、今回ワンランク上の指定運動療法施設となった。指定運動療法施設では、医師の処方箋に基づいた運動療法を受けると、かかった費用が医療費控除の対象となる。対象は高血圧や糖尿病など生活習慣病患者。同施設の提携医師の診断を受け、交付された処方箋を同施設に提出。健康運動指導士が作成したプログラムに沿って、プールやジムで運動療法に取り組む。費用は、通常の医療費や入院費に合算でき、年間10万円を超えると控除の対象となる。

運動療法の様子

運動療法料金は、一般利用者は2万円で10回利用がセット。すいめいヘルスクラブ会員は、Aチケット5千円（プールと温泉入浴）、Bチケット7500円（プール、アスレチックジムと温泉入浴）で、ともに10枚綴りを用意。すいめいヘルスクラブ会員は別途年会費1万円がかかる。

少子高齢化の中、健康への関心は高い。温泉とともに予防医療が医療費控除の対象となる。

温泉は、3カ所の大浴場で湯巡りが楽しめる。日本三名泉である下呂温泉を心ゆくままに堪能できる。

山水閣の内風呂付き野天風呂、飛泉閣の展望大浴場、臨川閣では120平方㍍の檜の大浴場と、それぞれ趣のある浴場で楽しめる。飛泉閣と臨川閣の大浴場は、男女ともに風呂の大きさは同じ。展望大浴場は24時間利用できるのも嬉しい。

山水閣、臨川閣、青嵐荘は全室、温泉を利用した内風呂が楽しめる。臨川閣、青嵐荘の浴槽は高野槙を使用。露天風呂付き客室もある。

▽水明館は岐阜県下呂市幸田1268。☎0576（25）2800。http://www.suimeikan.co.jp/

「すいめいヘルスクラブ」室内温泉プール

稲取銀水荘

静岡県・稲取温泉

旬を味わう磯会席料理

稲取銀水荘（加藤昌利社長）の料理は、金目鯛の煮付やお造りをはじめとする稲取ならではの旬の食材を味わう磯会席料理がメインだ。伝統を守りながらも新しい味を求め続ける「銀水の味」が旅行者を魅了している。

料理・食事

自慢の一品が「金目鯛の煮付」。金目鯛の旨みと伝統の味付けは、一度口にすれば虜になる味わい。煮汁は黒くてもくどくなく、酒も、飯もすすむ味に仕上げている。

子どもからご年配の方まで人気の一品が、銀水伝統の「クリームスープ」。「会席なのになぜ」と驚く宿泊客も多いが、うらごし半日、なめらかな口当たり、こくのある味わいにファンが多い。

イセエビ、アワビ、サザエ、当日仕入れの地魚などを使った旬の料理、オリジナルの清酒も提供。食事会場は旅行プランに応じて部屋食、食事処、宴会場を提案する。

▽稲取銀水荘は静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1624の1。☎0557（95）2211。http://www.inatori-ginsuiso.jp/

「銀水の味」が堪能できる料理

ひだホテルプラザ

岐阜県・飛騨高山温泉

飛騨の家具を使った客室

ひだホテルプラザ（井ノ下雄志社長）はミシュランガイド3つ星に輝いた観光地、飛騨高山のランドマークホテルといえる。古い街並みや高山陣屋などの主要スポットにも近く、観光にすこぶる便利だ。

源泉「飛天の湯」は市街地のなかでは豊富な湯量を誇る。ナトリウム塩化物泉は〝美人の湯〟として、特に女性客に喜ばれている。

温泉・客室

喜多館9階には飛騨の山並みを一望できる展望風呂や露天風呂がある。さらに屋上には開放的なジャグジー風呂、壺風呂（陶器風呂）も。壺風呂は天然温泉をゆったりと独り占めできるとあって、宿泊客に人気だ。

「特に冬の澄み切った夜空に輝く星空は至極の夜空」といい、贅沢な気分にさせてくれる。

東館地下1階は畳敷きのバリアフリー対応で、飛騨のおもてなしのなせる心遣いだ。

飛騨高山といえば「飛騨家具」でも有名で、そのブランド力は高い。日本国内では家具の五大産地「旭川、静岡、府中、大川、飛騨」があるとされる。

飛騨高山は昔から椅子などの脚物を作っていた。脚物は家具の中でも作るのが難しいとされ、高い技術が必要となる。飛騨高山の家具の質の高さはこうした裏付けがある。

ひだホテルプラザでは飛騨高山の家具を客室はもちろん、パブリックスペースの全ての家具に飛騨ブランドを用い、その良さを宿泊客にアピールしている。「地域に貢献したい」という姿勢の表れだ。

客室では市内の家具メーカーの家具調度品を贅沢に使っている。「100年かかって育ったものは、100年使えるもの に」という理念で作られた本物の家具が宿泊客の心を癒す。

▽ひだホテルプラザは岐阜県高山市花岡町2の60。☎0577（33）4600。http://hida-hoteplaza.co.jp/

壺風呂

飛騨家具を用いた客室

十八楼

岐阜県・長良川温泉

創業150年以上の老舗

鵜飼で有名な岐阜長良川温泉。十八楼（伊藤善男社長）は長良川の河畔に建ち、鵜飼と温泉を楽しむ宿泊客でにぎわいを見せている。

歴史文化

創業は江戸時代末期の万延元年（1860）。屋号は松尾芭蕉が岐阜来遊時に夏の鵜飼の様子を詠んだ「十八楼の記」にちなむ。150年以上の長い伝統を誇る老舗旅館で、伊藤社長は8代目に当たる。

十八楼は、老舗の伝統を守りつつ、新たな時代を迎えるに当たり、創業150年記念事業の一環として2012年、旧家の蔵を再利用した「蔵の湯」をオープン。13年5月には、蔵の湯と露天風呂、展望内風呂を備えた「お湯処『川の瀬』」をリニューアルオープンした。

10年から宿泊客限定で毎日開催している「川原町散策ミニツアー」は、宿周辺の古い町並みと相まって、束の間のタイムトリップを味わえる。

▽十八楼は岐阜県岐阜市湊町10。☎058（265）1551。http://www.18rou.com/

旧家の蔵を再利用した「蔵の湯」

別邸「松乃碧」をオープン

石川県・和倉温泉の加賀屋（小田與之彦社長）は明治39年創業。屋号には創業者の小田與吉郎氏が加賀・津幡の出身であることと、天下に響く雄藩加賀百万石のように、大きく飛躍したいとの願いを込めている。

接客・サービス

加賀屋のおもてなしの心は、「いつもお客さまの満足を第一に考え、働いた」という先代女将の小田孝さん（故人）の精神から生まれた。小さな気配り、心配りを基本にした客室係のサービス。今はどこでも見られる習慣、女将たちによるあいさつまわりは、ここ加賀屋で始まったと言われる。

「小田孝はお客さまには『できません』とは言わないようにして、一人ひとりのお客さまと真剣勝負をするつもりで、サービスにあたった」（同館）。その心は今も受け継がれている。

加賀屋の四つの棟のうち、「雪月花」に特選階（15～17階）を設けた。部屋食のサービスにこだわり、窓際にダイニングルームを設置し食事スペースを分離させている。

その加賀屋の別邸として昨秋オープンしたのが、「松乃碧」だ。「大人の宿、美術館に泊まる」をコンセプトとしており、七尾湾や茶室庭園を望みながらゆっくりとした時間を過ごせる。

館名の「松」は、別邸という位置づけであり、最も位の高い木であることから由来。玄関口には、昭和天皇お手植えの松もある。「碧」は、世界農業遺産に認定された能登の自然の豊かさを、この1字を使って表現した。

館内には輪島塗、九谷焼など地元伝統工芸品を散りばめ、大人の時間を細やかに演出。31ある客室はすべてオーシャンビュー。寛ぎと癒しの空間で「和」を残しながら現代的にアレンジされたベッドとソファを備えた。

上質なアメニティを多数そろえ、おもてなしと機能性を兼備した。

▽加賀屋は石川県七尾市和倉町ヨ部80番地。☎0767（62）1111。http://www.kagaya.co.jp/

松乃碧・加賀藩前田家ゆかりの茶室

波穏やかな七尾湾に佇む加賀屋

本陣平野屋 花兆庵

岐阜県・飛騨高山温泉

100のおもてなしを用意

「本陣平野屋花兆庵」（有巣秀司社長）は、飛騨の小京都、高山の中心に建つ古都の風情あふれる宿。26の部屋に70人のおもてなしスタッフで対応。きめ細やかな心配りで上質な大人の宿のひとときを楽しめる。

接客・サービス

同館では100のおもてなしを用意。そのひとつとして、夕食は事前に予約すると客室か料亭か好きな場所を選ぶことができる。苦手な食材やアレルギー食材もできるかぎり対応する。

JRや高速バス利用者向けには到着時間に合わせて、JR高山駅、高山バスセンターまで迎えに行く。チェックイン前の時間の迎えや、荷物だけのお預かりにも対応。翌日の荷物預かりもしており、同館から徒歩1分で行ける高山陣屋や古都を到着から出発までゆっくりと観光できる。

マイカーの預かりや、朝食後も布団を上げないサービスなども好評。

料理は、飛騨の旬の野菜と産地直送の海の幸を組み合わせた献立。献立は季節にこだわりひと月ごとに変わる。

▽本陣平野屋花兆庵は岐阜県高山市本町1の34。☎0577（34）1234。http://www.honjinhiranoya.com/

きめ細やかな心配り

松園荘 保津川亭

京都府・湯の花温泉

緑の中で湯遊びを満喫

松園荘保津川亭（奥村昌信社長）は、京都の奥座敷、湯の花温泉にある和風旅館。「兼愛交利（けんあいこうり）」を掲げた、おもてなしで、リピーターも多い。

自慢の温泉は09年に完成した大浴場棟「湯遊び処」で満喫できる。コンセプトは、「緑の中の湯遊び処」。敷地面積は、1569・35平方㍍。同旅館の敷地内にある里山部分の一部を活用した。

温泉・浴場

2階建てで、1階には、バリアフリータイプの家族風呂とエステルーム。2階には、大浴場、露天風呂、ミストサウナ、薬湯、足湯、能舞台、湯上り処を用意。自然の中で温泉を満喫できる。身体への負担が少ないミストサウナや、薬湯風呂には備長炭と麦飯石を採用するなど健康志向にも応えた。

大浴場「大黒の湯」は、ゆったりとした大きな浴槽と、スパ感覚の多彩なジャグジーバスが特徴。男女の浴場ともに主浴槽に加え、ジェットバスがあり、さらに男性大浴場にはバイブロバス、女性大浴場にはミルキーバスがある。浴室と浴槽には御影石を使い、床には水切れのよい磁器質タイルが敷かれている。

露天風呂は、男女それぞれ庭も含め約400平方㍍。庭に高さ5㍍、幅10㍍の大滝が配され、水しぶきと川のせせらぎを楽しめる。御影石の石風呂や檜風呂、薬湯がある。ミストサウナは洋風で、ルーム内に噴水もある。

家族風呂は2タイプある。洋風の「ほっこり」は広さ68平方㍍。和風「和み」は広さ90平方㍍。それぞれ、内湯と露天風呂がある。

湯上り処は、木を基調としたぬくもりのある空間。日本の伝統芸能「能」や「歌舞伎」の雰囲気を楽しめる本格的な能舞台がある。舞台のまわりには、一度に8人が利用できる足湯もある。

▽松園荘保津川亭は京都府亀岡市湯の花温泉。☎0771（22）0903。http://www.syoenso.com/

大浴場の露天風呂　檜風呂

大浴場の露天風呂　石風呂